

戸籍のまど

(12月届出分)

★お誕生おめでとう

川口 惺^{せい}羽^は(隆太)古野牛川
宮本 晴^は菜^な(夏樹)砂子又

★お悔やみ申し上げます

中里 末太郎(上田屋) 84歳
蒲 里^りツ(蒲野沢) 81歳
新谷 茂(尻労) 84歳
山道 はつよ(入口) 85歳
宮本 次郎(早掛平) 87歳
館 はぎゑ(上田屋) 88歳
竹林 キヨミ(蒲野沢) 93歳
西山 はる(白糠) 101歳
川端 カヨ(桑原) 87歳
賀佐 チョセ(蒲野沢) 89歳

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては
しくない方は届出の際に係に申し出てくださる
ことをお願い致します。

第37回 東通村子ども会 郷土芸能発表会開催のお知らせ

◇開催日時：平成27年2月15日(日) 9:30～開演

◇場 所：東通村体育館

※お 願 い：上履きをご持参下さいますようお願いいたします。

<問合せ先>

東通村子ども会育成連合会事務局(村体育館内)

☎27-2200



ひがしどおりのさんぽみち

タイトル：地域の中で育まれた行事
情報提供者：砂子又子ども会

今回のさんぽみちは、砂子又地区に伝わる正月の伝統行事「^{なえ}苗どり」についてです。

この「苗どり」という行事は、元旦、2日と砂子又郷友会による「門付け」に続いて行われるもので、毎年1月14日(小正月の年取り)に児童達が各家々を回り、苗に見立てたお菓子・御花をもらい(苗をとり)、16日に婦人会が行う「田植えもちつき踊り」に引き継ぐという、砂子又地区の子どもたちが長年繋いでいる独特の伝統行事となっています。

14日の夕方、子供たちは冷たい風にも負けずに各家々(41世帯)の玄関先を回ります。そして、「ごめんください、春の初めの苗どりに来ました。」と挨拶し、続いて「苗をとーりましょ♪苗をとーりましょ♪」と元気な声で謡って苗どりをし(写真上)、お菓子や御花をもらいます。

子ども達は交代で荷物を持ったり、自分の役割にしっかりと責任を持ち、時には雪で遊んだりしながらも、袋いっぱいのお菓子を嬉しそうに担いで元気に地区内を歩いていました。

砂子又子ども会会長の松本敏夫さんは、「児童の減少で存続の危機となっていますが、一人でも児童がいる限り継続していかなければと思っています。」と話していました。

